

群馬県立利根実業高等学校

生物資源部(イノシシ)

イノシシ侵入防護研究と地域への普及活動

イノシシの圃場への侵入防護研究により、農業収入を確保することを目的とする。地域行政機関などから発表の場を設けてもらうよう、連携を強化した。今後は、本校も一員であるユネスコスクールのネットワークを活かし、さらに連携の輪を広げていく。



群馬県立利根実業高等学校

生物資源部(シカ)

ニホンジカのワイルドライフ・マネジメントー調査・研究と情報発信ー

ワイルドライフ・マネジメントの手法に基づき、ニホンジカやイノシシの獣害対策の研究を行う。学会での成果発表や野生生物の獣害問題についての啓発を行い、地元の銀行からも厚い理解を得られた。今後も野生生物との共存に向け、積極的に情報発信を行う。



千葉県立鎌ヶ谷西高等学校

鎌西1年2組

地域を巻き込み! 「服のチカラ」プロジェクト

地域と協力し、株式会社ユニクロによる難民への衣類提供プロジェクトを通じて、全校生徒への意識付けを行う。行政や地元農家、各地の幼稚園、学校などと協働することで、難民への子供服寄贈が3,200枚以上となり、また本校生徒のボランティア活動への参加が、昨年度の約3倍となった。

お茶の水女子大学附属高等学校

環境チーム

国産材を活用して日本の森を守る

国産材を用いて日本の森を守るため、間伐材利用に係るアンケート調査を実施。そこで得られた知見を元に、間伐材を使用した割り箸を全校に配布したり、台湾の高校へ森林の活用に関するプレゼンテーションや意見交換を行った。今後はWebページをさらに充実させ、世界に向けて情報を発信する。

東京都立新宿山吹高等学校

ボルネオ保全学生グループ(SGBC)

ボルネオ島の熱帯雨林への恩返し ~野生生物のために私たちができること~

ボルネオ島で現地の学生たちと共に自然環境や人々の暮らしのつながりについて学び、そのノウハウを周囲へ展開する。各学校やシンポジウムでの展示を通し、ボルネオ保全NPOへ支援するための寄付金を募った。今後は消費者へ訴求するための企画を行う。



東京都立武蔵高等学校

普通の高校生ズ

SDGsは手に届く ~身近な活動から世界の視点へ~

「SDGs達成のために私たちができる身近な活動」をテーマに、いろいろな物品の再利用やSDGs新聞の作成、後輩へのSDGs授業の実践などを行った。SDGs授業については、今後は他の学校とも連携しながら、身近な活動を切り口に、地元の仲間とともにSDGs達成を目指す。

東京都立瑞穂農芸高等学校

園芸部

サツマイモの空中栽培

化石燃料の代替とした持続可能エネルギーとして、サツマイモの空中栽培の研究を行う。瑞穂農芸高校の地形を活かした栽培方法を実践することで、まだ収量は少ないながらも着実に栽培は行えた。将来的には作物のエネルギー化を入口に、若者の農業との関わりが増えることも目指す。



東京都立大島海洋国際高等学校

Team Sustainable Aquatic Resources

海外と日本における水産資源管理の認知度の違いについて

世界有数といえる日本の水産業であるが、近年はその衰退が進んでいる。そこで、世界や日本で行われている水産資源管理方法についてのアンケートを実施。シンポジウム等で発表し、水産資源管理方法の重要性についての理解を促す。



慶應義塾湘南藤沢中・高等部

有志団体 環境プロジェクト

羽ばたけ! 未来の希望を広げるeco出前授業

近隣小学校への環境出前授業を通じて、環境問題を意識する将来世代を育成することを目指し活動。小学生にわかりやすく説明をするために、自分たちの理解や工夫が必要不可欠であるとの気づきを得た。



神奈川県立中央農業高等学校

養鶏部 中農アイガモプロジェクト

アイガモから広がる笑顔の輪

アイガモ・アヒル農法を通じて、環境に配慮した米作りを普及している。アイガモ・アヒル農法に由来する米を使ったジェラートや弁当を製造し、いろいろな販売会にも出店した。アイガモ・アヒルの放鳥体験も行い、米作りの楽しさや大変さ、環境に配慮した米作りの重要性を訴求することができた。

新潟県立佐渡総合高等学校

GIAHSプロジェクトチーム

トキの島からジアスの島へ! ~持続可能な佐渡の農業を守るための地域連携活動~

世界農業遺産(ジアス)に認定された佐渡の農業システムを維持し、持続可能な農村システムを確立することを目指す。体験学習や事例発表を通してジアスの普及を実施し、耕作放棄地の利用で得られた作物を老舗和菓子店で活用するなど地域の連携も進んでいる。



加藤学園高等学校

化学部

河川水の調査「モリブデン青法とリンの再結晶化」に関する研究

沼津市内河川の水質調査を行っている。窒素やリンによる富栄養化により汚泥が生じてしまうことから、独自の排水処理装置を作製し、リンの再結晶化に関する実験を行った。今後も汚水や雨水を排水処理装置で受け入れ、公衆衛生の向上を目標に活動する。



静岡県立浜松城北工業高等学校

環境部

~「地球にやさしいエンジニア」を目指して~

「地球にやさしいエンジニア」を理念に掲げ、26年間にわたり実践的な環境教育活動を実施している。地域の子どもたちへの体験的プログラムや、ISO14001の内部監査員普及・推進を通して、地域づくりのモデルとなるよう、今後も様々な主体と連携していく。



オイスカ高等学校

浜と松プロジェクト

防潮堤工事から遠州灘海岸の再生に向けて

ウミガメの産卵地としても有名な中田島砂丘は、海洋の浸食によりこのままではなくなってしまうと言われている。また浜松の市木である松の海岸林もマツクイムシの影響で激減している。そこで地元の誇りであるこの両者を保全することを目的とし、シンポジウム参加や環境講座実践などを通して、市民の行動変容を促す。